

(5)平成27年度 伊勢山小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

学校教育目標「あいさつ」「ともだち」「チャレンジ」「やくそく」の具体目標達成

「あいさつ」出会いを大切に人と関わり合う力

「ともだち」相手の立場を考え、互いに認め合い高め合う力

「チャレンジ」どんな課題に対しても、解決しようとする諦めない力

「やくそく」きまりを守ることで、互いを大切にする心

について、道徳や特活の時間だけでなく、各教科・領域にわたり全教育活動において、達成に向け取り組んでいく。

児童の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

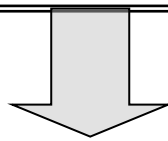
子どもたちは活力があり、好奇心旺盛、個性豊かな人なつつこい児童が多い。反面、行動が幼く短絡的などころや、自分の思いを相手にわかりやすく伝えることが苦手なため、トラブルになるなどコミュニケーション力に課題が見られる。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

学校教育目標の達成を目指し、全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。

異年齢集団や同学年集団での活動を通して、主体性や思いやりの心を育てる。

多様な活動を経験することによって豊かな感性や情操を育む。



指針1「道徳の時間」の充実 【視点1】

- ・年間の授業参観の中で必ず1回は授業公開し、授業後の懇談会で話し合い、学校と家庭の連携を図る。
- ・人権週間の中で実践した内容に考察を加え、人権特集号として家庭・地域配布し理解と協力を得られるようにしている。

指針2「体験活動の充実」 【視点3】

- ・体験活動を通して他者との関わりや、自己を見つめ集団の一員であることの自覚をもちながら、自己有用感を高める。
たてわり活動、 4・5・6年宿泊体験学習、 1・2・3年遠足
- ・課外クラブの活動により、規律を守り、自主的、意欲的に取り組む子の育成。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成 【視点6・7】

- ・年2回YPアセスメント、学校をよくするアンケート（いじめ関係）を実施し、結果を分析し個別の問題にはすぐに対応する。
- ・YPアセスメントの結果から、学級集団としての課題を見つけ、必要な「横浜プログラム」を実施する。
- ・人権研修を行い、教員の人権感覚を磨き、子どものサインを見逃さない。

指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・読書活動を推進し、感性豊かな心情を育てる。【視点11】
週3回朝読書の時間を設定
低学年は週1回保護者・地域の方による読み聞かせの実施
大人と子供のための読み聞かせの会による全校お話会の実施
- ・本物との出会いの機会を多くもつ。【視点10】
地域の材を生かし、協力者による学習の機会をもつ。
「横浜芸術文化プログラム」の実施
「マリノス食育キャラバン」の実施